

図1 カウンセリング研修の多軸多層構造

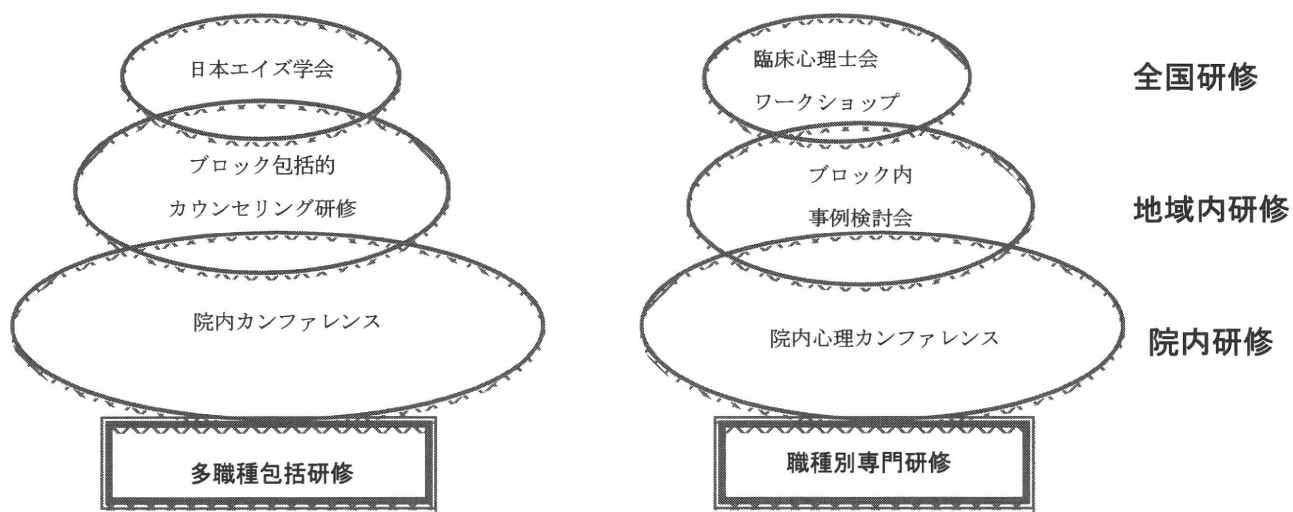


表1 第1回研修会のプログラム

<p><3月15日> 12:00 受付開始 13:00 開会のあいさつ 広島県臨床心理士会担当幹事 内野悌司さん 13:10 事務連絡) 13:20 講義「HIV医療の最近の話題」 ～14:20 講師 高田 昇さん(広島大学病院輸血部長、エイズ医療対策室長) 14:30 症例報告・討議「本院における包括的HIVカウンセリングの経験」 ～17:30 ゲストコメンテーター 織田幸子さん(国立大阪医療センター・コーディネーターナース) 17:40 ロールプレイに関する打ち合せ ～18:30 19:00 夕食を兼ねた懇親会 ～20:30 <3月16日> 7:00 朝食 9:00 ロールプレイによるワークショップ「わがチームの特徴を理解しよう」 ～12:00 12:00 閉会の挨拶 解散</p>

表2 第2回研修会のプログラム

<3月14日(土)>

13:30 受付開始

14:00 開会のあいさつ 内野悌司さん(広島県臨床心理士会、広島大学)

14:10 事務連絡

14:20 講義「HIV感染症の最近の話題」

～15:20 講師 高田 昇さん(広島大学病院輸血部長)

15:30 講義「HIV感染者に見られる精神医学的問題とその対応」

～16:30 講師 佐伯俊成さん(広島大学病院総合診療科准教授)

16:40 症例報告・討議「精神医学的問題を抱えたHIV症例への取組み(1)」

～18:30 ①わが病院のカウンセリング体制のセルフチェック

②「全国の中核拠点病院におけるカウンセリング体制の動向」

③症例報告・討議I

ゲストコメンテーター 佐伯俊成さん(上掲)

19:00 夕食を兼ねた懇親会

～20:30

<3月15日(日)>

7:00 朝食

9:00 症例報告・討議(2)

～12:00 ①症例報告・討議II

②症例報告・討議III

③症例報告・討議IV

ゲストコメンテーター 佐伯俊成さん(上掲)

12:00 閉会の挨拶 内野悌司さん(上掲)

12:30 解散

Ⅲ 資料

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
中核拠点病院において行われるカウンセリングの質を向上させる研究班

中核拠点病院における
カウンセリング体制に関する調査
(2009 年度)

研究代表者：山中京子 (大阪府立大学人間社会学部)
研究分担者：兒玉憲一 (広島大学大学院教育研究科)

I 貴施設の HIV 医療体制についてお尋ねします

※全ての方にお尋ねします。

質問 1 貴施設の HIV 感染症の累積患者数をお教えてください。

約 () 名

質問 2 貴施設において現在診療されている HIV 感染症患者数をお教えてください。

約 () 名

質問 3 貴施設の HIV 感染症の医療チーム構成をお教えてください。

医師…………… () 名

外来看護師…………… () 名 うち、HIV 専従看護師 () 名

薬剤師…………… () 名

ソーシャルワーカー…………… () 名

心理士・カウンセラー…………… () 名

その他 () … () 名

質問 4 貴施設の HIV 感染症の医療において、以下のどのカウンセラーを活用した経験がおありですか？以下の項目のうち、あてはまるものにチェック印をおつけください。(複数回答可) また、分かる範囲で結構ですので、それぞれのカウンセリング延べ利用者数をお教えてください。

カウンセリング利用者数

中核拠点病院相談事業カウンセラー 約 () 名

HIV 派遣カウンセラー 約 () 名

貴施設所属のカウンセラー 約 () 名

質問 5 貴院での中核拠点病院相談事業の導入について、以下のうちあてはまる項目にチェック印をおつけください。

- | | |
|---|----------------|
| <input type="checkbox"/> 中核拠点病院相談事業を導入している | ☞ II 2～4 ページへ |
| <input type="checkbox"/> 中核拠点病院相談事業の導入を準備中・考慮中である | ☞ III 5～7 ページへ |
| <input type="checkbox"/> 中核拠点病院相談事業は導入を考えていない | ☞ IV 8 ページへ |

II

II 中核拠点病院相談事業を導入している施設の方にお尋ねします

A. 中核拠点病院相談事業導入の具体的方法についてお尋ねします。

質問6 中核拠点病院相談事業を導入するに至った理由となる事柄として、以下の項目にあてはまるものがありましたらチェック印をおつけください（複数回答可）。

- 中核拠点病院選定に伴い、自治体から要請があった
- ブロック拠点病院からの要請があった
- 所属病院の方針であった
- 診療医が必要性感じた
- 院内の医療スタッフ（看護師、ソーシャルワーカーなど）からの要請があった
- 患者からのニーズがあった
- その他（ ）

質問7 中核拠点病院相談事業の導入に際して困難を感じた点として、以下の項目にあてはまるものがありましたらチェック印をおつけください（複数回答可）。

- 関連情報の獲得
- 自治体のコンセンサスを得ること
- 院内のコンセンサスを得ること
- 医療スタッフ（医療チーム）のコンセンサスを得ること
- 各種事務手続き
- 予算運用
- カウンセラー人材の確保
- カウンセリングに必要な設備確保
- その他（ ）

質問8 中核拠点病院相談事業の導入にあたって、上記の質問2のような困難を感じたときに、誰から、どのような助力を得ましたか？そのご職種、施設、団体などをお教えてください。
()

質問9 中核拠点病院相談事業のカウンセラー人材の選定や確保は、容易でしたか？それとも困難でしたか？以下の項目のうち、最もあてはまるものにチェック印をおつけください。

- 容易だった やや容易だった やや困難だった 困難だった

質問10 貴院では中核拠点病院相談事業のカウンセラー人材をどのように募りましたか？以下の項目のうち、あてはまるものにチェック印をおつけください。（複数回答可）

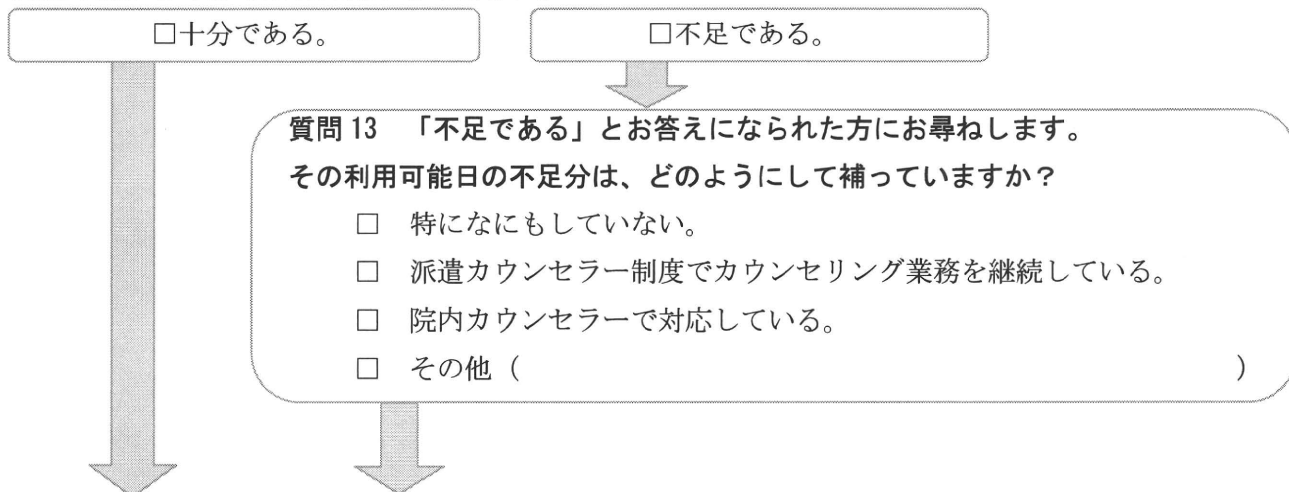
- 病院で公募
- 行政に相談して
- 都道府県の臨床心理士会に相談
- 大学機関（臨床心理士養成校）に相談
- 院内にいたカウンセラーを雇いあげ／兼任
- HIV 派遣カウンセラーを雇いあげ／兼任
- 既に知っていたカウンセラーに声をかけた
- その他（ ）

B. 中核拠点病院相談事業の運用上の課題についてお尋ねします。

質問 11 中核拠点病院相談事業のカウンセリングの利用可能日をどのように設定されていますか？

- 定期的 週 () 回 必要時に随時 その他 ()

質問 12 中核拠点病院相談事業のカウンセリング利用可能日（上記質問 11）について、診療体制や患者支援の点からのお考えをお聞かせください。



質問 13 「不足である」とお答えになられた方にお尋ねします。

その利用可能日の不足分は、どのようにして補っていますか？

- 特になにもしていない。
 派遣カウンセラー制度でカウンセリング業務を継続している。
 院内カウンセラーで対応している。
 その他 ()

質問 14 カウンセラーを含めた医療チームの連携について、困難を感じることはありませんか？以下の中に当てはまる項目があればチェック印をおつけください。（複数回答可）

- カウンセラーと他の職種との役割分担と振り分け
 カウンセラーから他の職種への報告や説明
 医師や看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーからカウンセラーへの情報提供
 カンファレンスでの情報共有や情報交換
 医療スタッフが、カウンセラーから患者の理解や対応の仕方の助言を得ること
 その他 ()

質問 15 中核拠点病院相談事業のカウンセリングに必要な設備運用に関するそれぞれの項目について、できているかできていないか、また、それは容易か困難かのいずれかをお教えてください。

カウンセリング用の 面接室の確保	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カウンセラーの カルテ閲覧	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カウンセラーの カルテ記入	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カルテ以外のカウンセ リング記録の保管・管理	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カウンセラーの 待機場所確保	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難

質問 16 中核拠点病院相談事業を導入してからのカウンセリング利用者数の変化について、以下の最もあてはまる項目にチェック印をおつけください。

増えている。

変化なし。

減っている。

質問 17 カウンセリングの利用者数が「変化なし」「減っている」とお答えになられた方にお尋ねします。その理由として考えられることとして以下の中の最もあてはまる項目にチェック印をおつけください。

- 患者数が増えていないため
- カウンセリングが必要であると判断される患者がいないため
- 患者がカウンセリングに拒否的であるため
- カウンセリングを受けても、継続的関わりにならないため。
- その他 ()

質問 18 中核拠点病院相談事業カウンセラーに対して、どの程度満足していますか？以下のうち、最もあてはまる項目にチェック印をおつけください。

- 満足
- やや満足
- よくわからない
- やや不満
- 不満

質問 19 中核拠点病院相談事業カウンセラーに対してお感じになる課題や問題点はありますか？以下のうち、あてはまる項目にチェック印をおつけください。(複数回答可)

- HIV 感染症とその治療に関する知識が足りない
- 性やセクシュアリティに関する知識・理解が足りない
- 感染症の予防に対する考え方が合わない
- 医療現場でのコミュニケーション能力が足りない
- 医療チームが患者に対してどのようにカウンセリングをすすめればよいかの説明や助言が足りない
- 患者のおかれている心理社会的状態の説明が十分ではない
- 患者がカウンセリングの継続を望まない
- カウンセリングを受けていても患者に変化がみられない
- 院内スタッフがカウンセラーから患者の理解や対応の仕方についての助言を受けても納得感や実際の効果がみられない
- 研修などに対してスタッフとしての助力が得られない
- その他 ()

Ⅲ 中核拠点病院相談事業の導入を準備中・考慮中の施設の方にお尋ねします

A. 中核拠点病院相談事業導入の具体的方法についてお尋ねします。

質問 20 中核拠点病院相談事業の導入を考慮するに至った理由となる事柄として、以下の項目にあてはまるものがありましたらチェック印をおつけください（複数回答可）。

- 中核拠点病院選定に伴い、自治体から要請があった
- ブロック拠点病院からの要請があった
- 所属病院の方針であった
- 診療医が必要を感じた
- 院内の医療スタッフ（看護師、ソーシャルワーカーなど）からの要請があった
- 患者からのニーズがあった
- その他（ ）

質問 21 中核拠点病院相談事業の導入に際して困難を感じた点として、以下の項目にあてはまるものがありましたらチェック印をおつけください（複数回答可）。

- 関連情報の獲得
- 自治体のコンセンサスを得ること
- 院内のコンセンサスを得ること
- 医療スタッフ（医療チーム）のコンセンサスを得ること
- 各種事務手続き
- 予算運用
- カウンセラー人材の確保
- カウンセリングに必要な設備確保
- その他（ ）

質問 22 中核拠点病院相談事業の導入にあたって、上記の質問 2 のような困難を感じたときに、誰から、どのような助力を得られそうですか？そのご職種、施設、団体などをお教えてください。

（ ）

質問 23 中核拠点病院相談事業のカウンセラー人材の選定や確保は、容易ですか？それとも困難ですか？以下の項目のうち、最もあてはまるものにチェック印をおつけください。

- 容易 やや容易 やや困難 困難

質問 24 貴院では中核拠点病院相談事業のカウンセラー人材をどのように募りますか？以下の項目のうち、あてはまるものにチェック印をおつけください。（複数回答可）

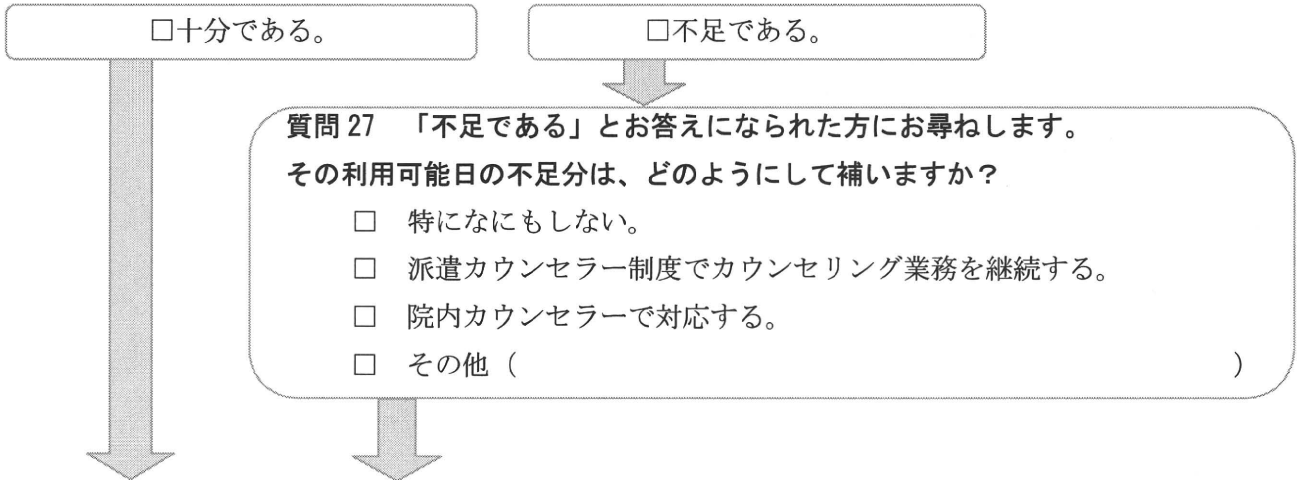
- 病院で公募
- 行政に相談して
- 都道府県の臨床心理士会に相談
- 大学機関（臨床心理士養成校）に相談
- 院内にいたカウンセラーを雇いあげ／兼任
- HIV 派遣カウンセラーを雇いあげ／兼任
- 既に知っていたカウンセラーに声をかけた
- その他（ ）

B. 中核拠点病院相談事業の運用上の課題についてお尋ねします。

質問 25 中核拠点病院相談事業のカウンセリングの利用可能日をどのように設定されますか？

- 定期的 週 () 回 必要時に随時 その他 ()

質問 26 中核拠点病院相談事業のカウンセリング利用可能日（上記質問 11）について、診療体制や患者支援の点からのお考えをお聞かせください。



質問 28 カウンセラーを含めた医療チームの連携について、困難が予想されることがありますか？以下の中に当てはまる項目があればチェック印をおつけください。（複数回答可）

- カウンセラーと他の職種との役割分担と振り分け
 カウンセラーから他の職種への報告や説明
 医師や看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーからカウンセラーへの情報提供
 カンファレンスでの情報共有や情報交換
 医療スタッフが、カウンセラーから患者の理解や対応の仕方の助言を得ること
 その他 ()

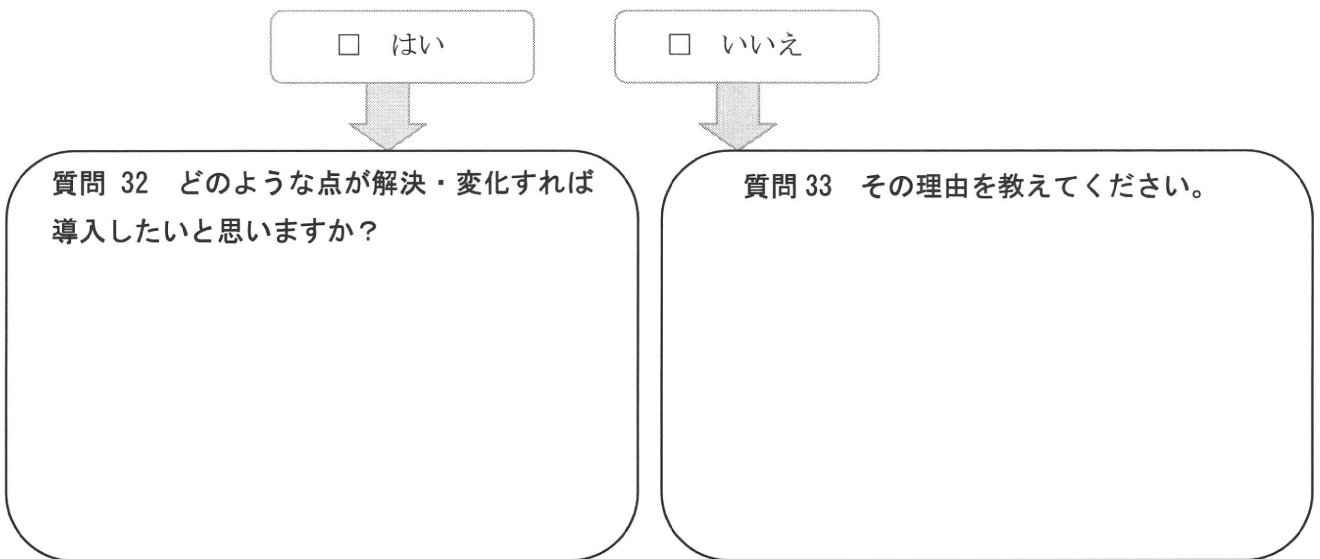
質問 29 中核拠点病院相談事業のカウンセリングに必要な設備運用に関するそれぞれの項目について、できそうかできなさそうか、また、それは容易か困難かのいずれかをお教えてください。

カウンセリング用の 面接室の確保	<input type="checkbox"/> できそう <input type="checkbox"/> できなさそう	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カウンセラーの カルテ閲覧	<input type="checkbox"/> できそう <input type="checkbox"/> できなさそう	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カウンセラーの カルテ記入	<input type="checkbox"/> できそう <input type="checkbox"/> できなさそう	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カルテ以外のカウンセ リング記録の保管・管理	<input type="checkbox"/> できそう <input type="checkbox"/> できなさそう	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難
カウンセラーの 待機場所確保	<input type="checkbox"/> できそう <input type="checkbox"/> できなさそう	<input type="checkbox"/> 容易 <input type="checkbox"/> 困難

質問 30 中核拠点病院相談事業の導入をお考えにならない理由をお教えてください。以下のうち、あてはまる項目すべてにチェック印をおつけください。

- 中核拠点病院相談事業の存在自体を知らない。
- 中核拠点病院相談事業の存在は知っているが、手続きの方法がわからない。
- 中核拠点病院相談事業の存在・手続き方法は知っているが、手続きが面倒である。
- 自治体がこの事業に積極的でない。
- 所属施設がこの事業に積極的でない。
- HIV 感染症に関連する他のスタッフを充実させることが先決である。
- 現在の中核拠点病院相談事業の予算額では、カウンセラーの雇用確保が難しい。
- カウンセラー人材が見当たらない。
- カウンセリングが必要であると判断される患者がいない。
- 患者がカウンセリングを求めない。
- 現在のスタッフ体制で患者の心理・社会的支援が行えているので必要ない。
- カウンセリング支援の内容や効果がわからない。
- 現在の院内体制では、面接室などの設備面やシステム面から、カウンセラーを十分に機能させることが難しい。
- 派遣カウンセリングで十分間に合っている。
- 院内ですでに雇用されている一般カウンセラーで間に合っている。
- その他 ()
- その他 ()

質問 31 今後、中核拠点病院相談事業を導入する可能性はあると思いますか？「はい」か「いいえ」のいずれかにチェック印をつけ、それぞれの自由記述の質問にお答えください。



V 自由記述とその引用の許諾

※全ての方にお尋ねします。

質問 34 その他、中核拠点病院相談事業についてお感じになることがあれば、ご自由にお書きください。

質問 35 この調査についてお感じになることがあれば、ご自由にお書きください。

質問 36 自由記述の引用の許諾についてお伺いします。

◆以下の質問には、必ずお答えください。お願いいたします◆

このアンケートには、あなたのご意見を自由にお書きいただく質問が含まれています。このご意見の一部を報告書などに引用させていただく場合があります。もちろん引用する場合には個人や施設が特定できない形にいたします。あなたの文章を引用させていただいてもよろしいでしょうか。

以下のどちらかに、✓をおつけください。

文章の一部を引用してもよい

文章の引用はしてほしくない

質問は以上です。たいへんお疲れ様でした。
調査にご協力いただきましたことを深く感謝申し上げます。

このアンケートの締切り日は、
平成22年2月末日までとなっております。
勝手を申し上げまして恐縮ではございますが、
なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成 21 年度

厚生労働省補助金研究事業

悩みの相談に関する調査

「中核拠点病院において行われるカウンセリングの質を向上させる研究」班

大阪府立大学人間社会学部
広島大学保健管理センター
大阪府立大学人間社会学部

奥田 剛士
内野 悌司
山中 京子

I あなたの悩みについてお伺いします。

質問1 HIV感染症にかかっているとわかってから、どのような悩みを経験しましたか？

- 悩んだことがある項目に○印をつけ、
- その悩みを相談した相手がいれば○印、いなければ相談しなかったに○印をつけ、
- その悩みが現在解決したかどうか、あてはまるものに○印をつけてください。

以下の悩みがありましたか？(複数回答)

相談した相手は？(複数回答)

悩みは解決しましたか？

悩み1: HIV感染がわかったことによるショック・動揺について。

悩み2: パートナーに、HIVにかかっていることを伝えるかどうか。

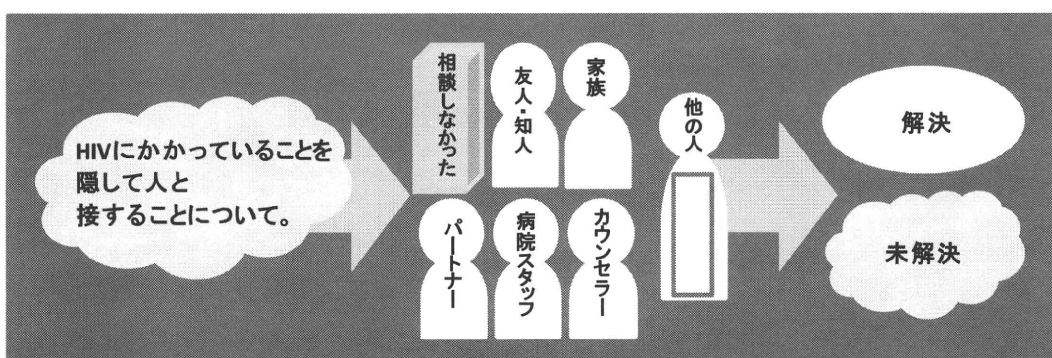
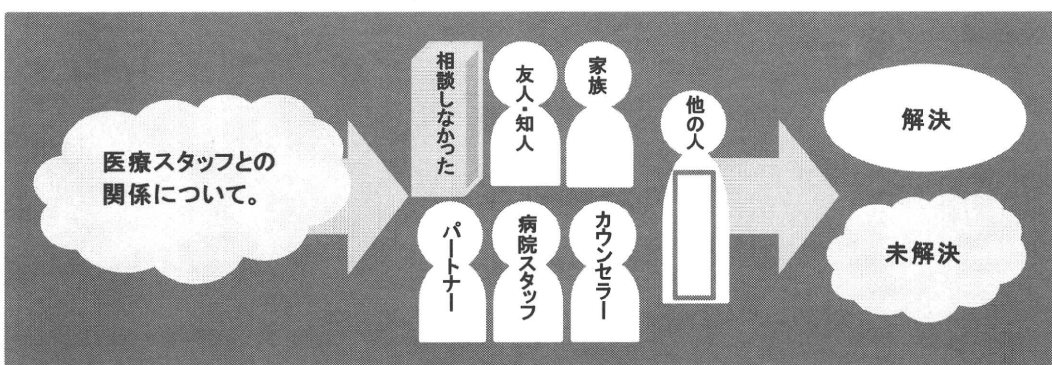
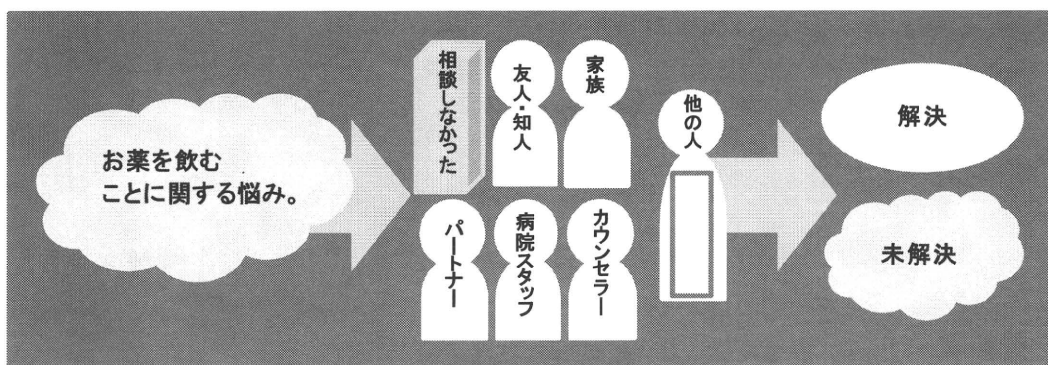
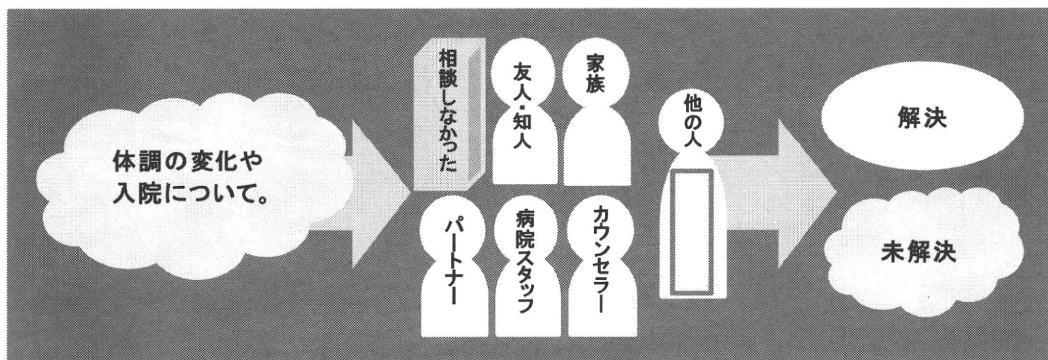
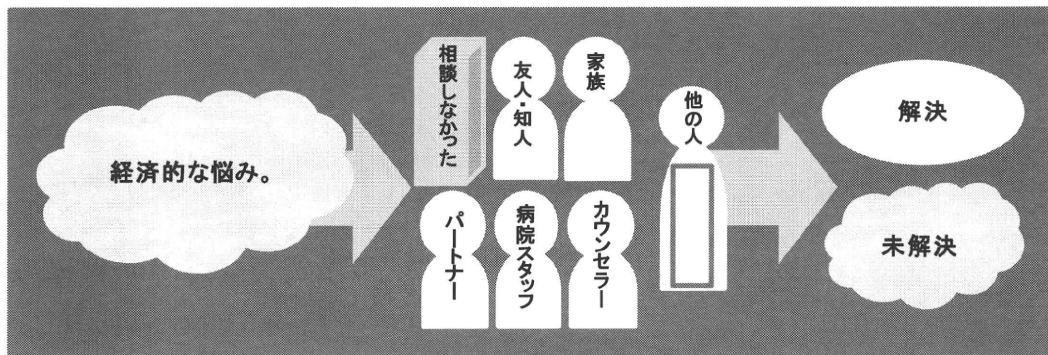
悩み3: 家族に、HIVにかかっていることを伝えるかどうか。

悩み4: 仕事や学校に関する悩み。

以下の悩みがありましたか？（複数回答）

相談した相手は？（複数回答）

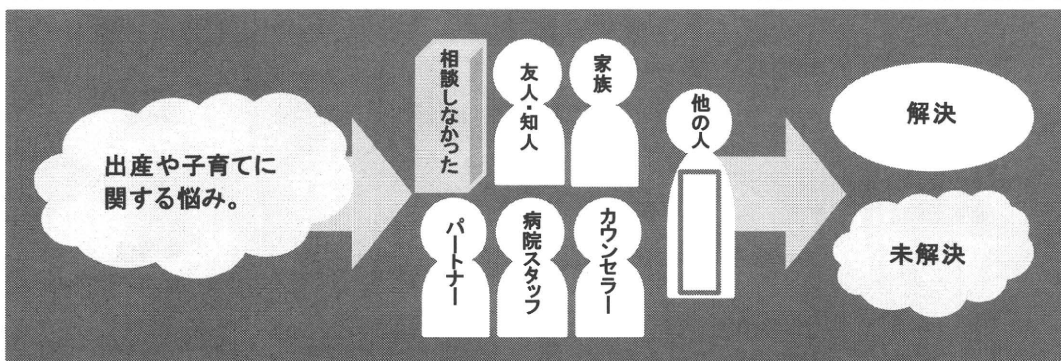
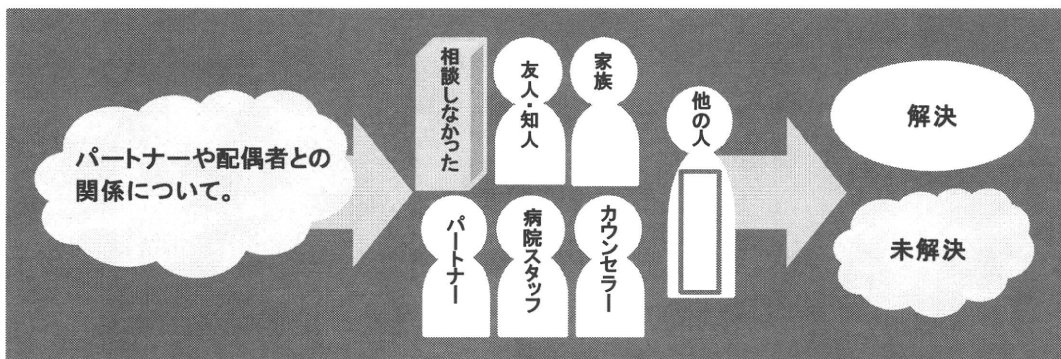
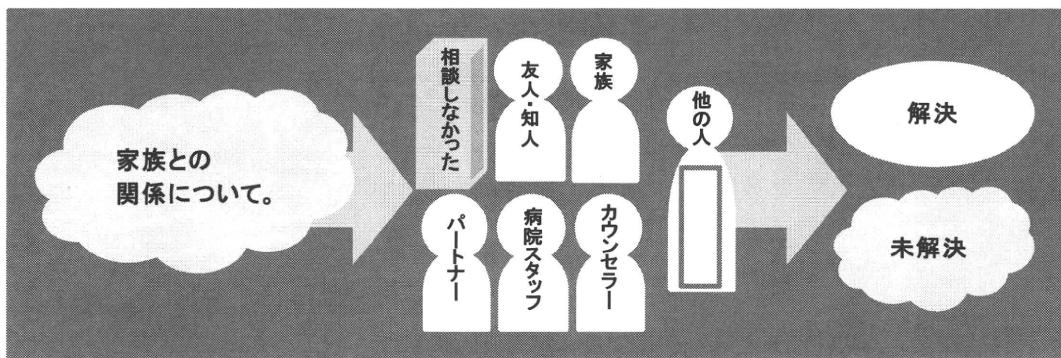
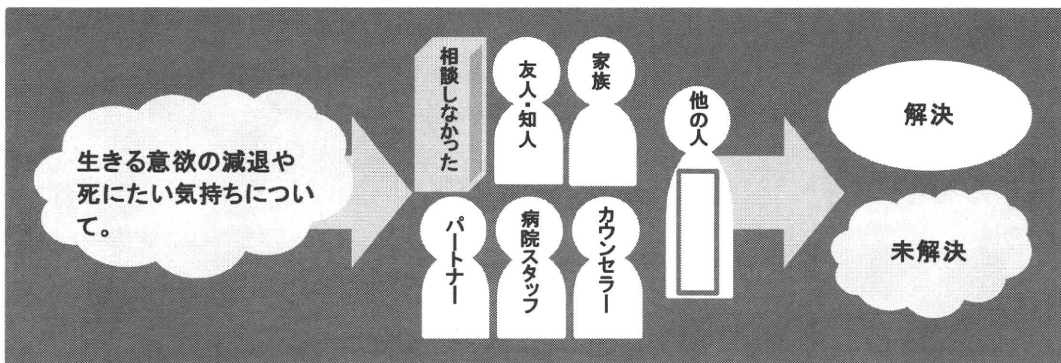
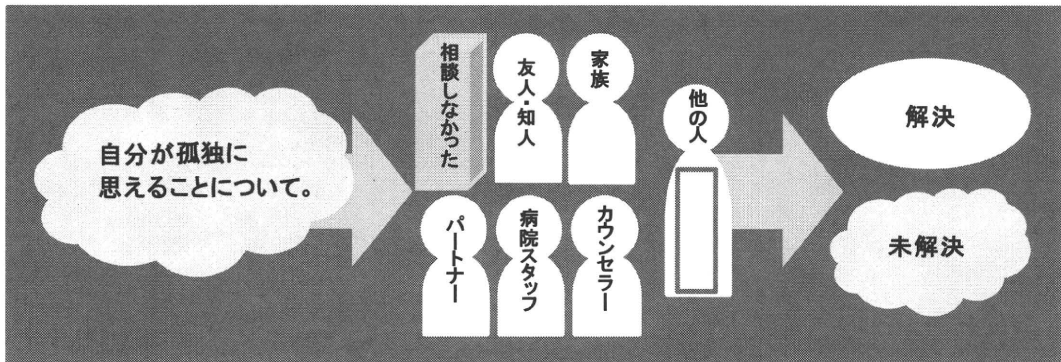
悩みは解決しましたか？



以下の悩みがありましたか？（複数回答）

相談した相手は？（複数回答）

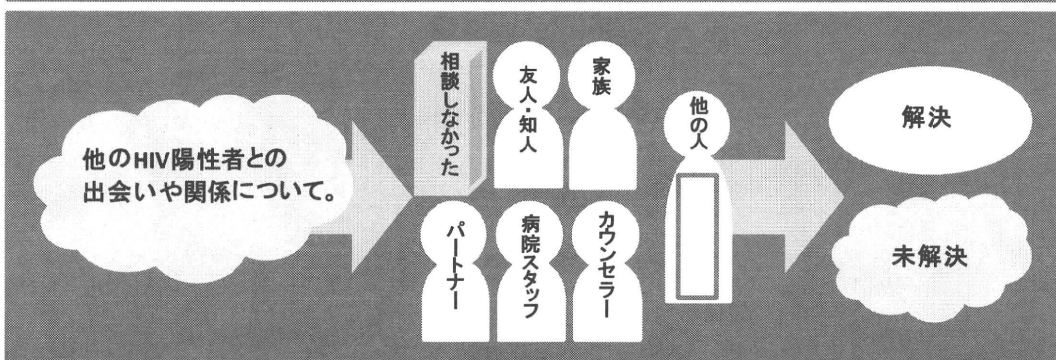
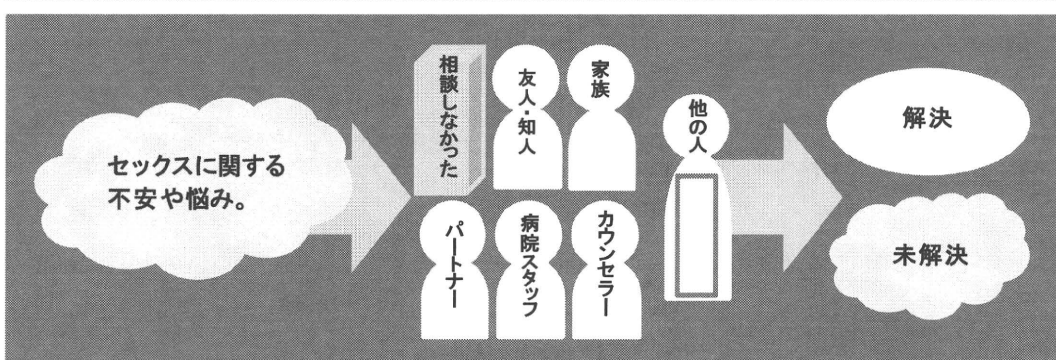
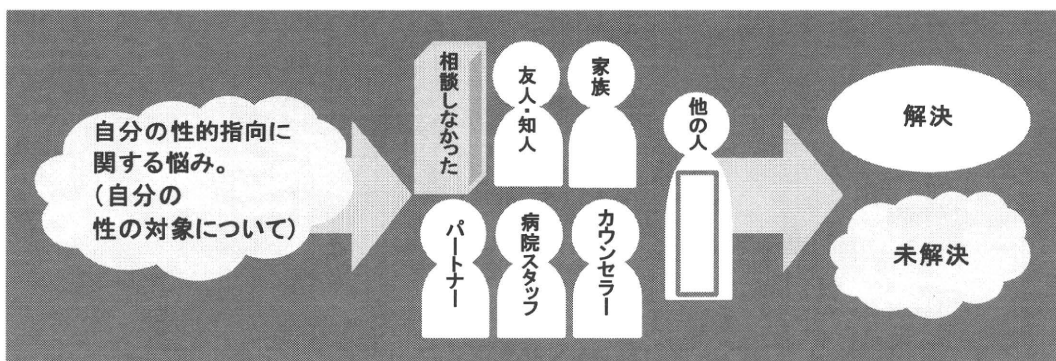
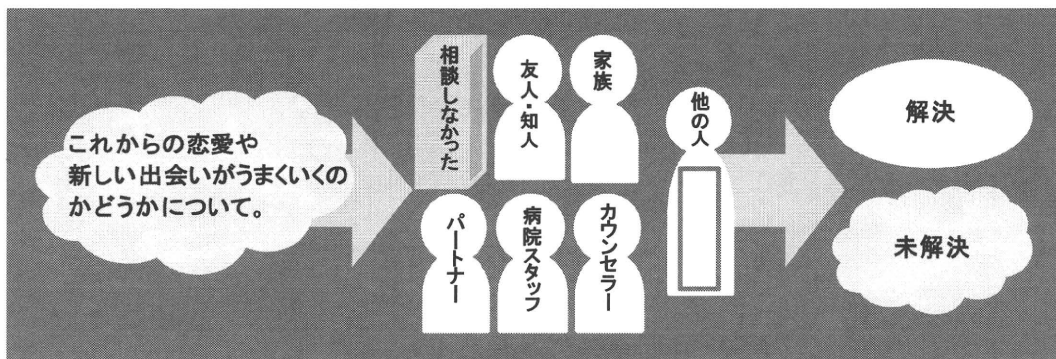
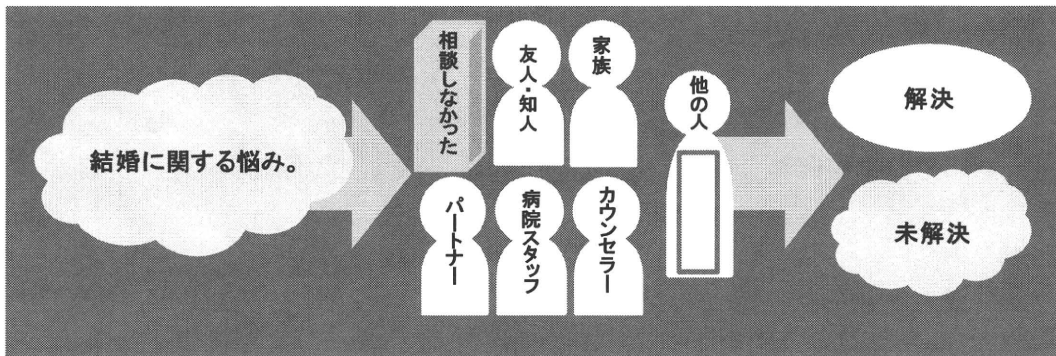
悩みは解決しましたか？



以下の悩みがありましたか？（複数回答）

相談した相手は？（複数回答）

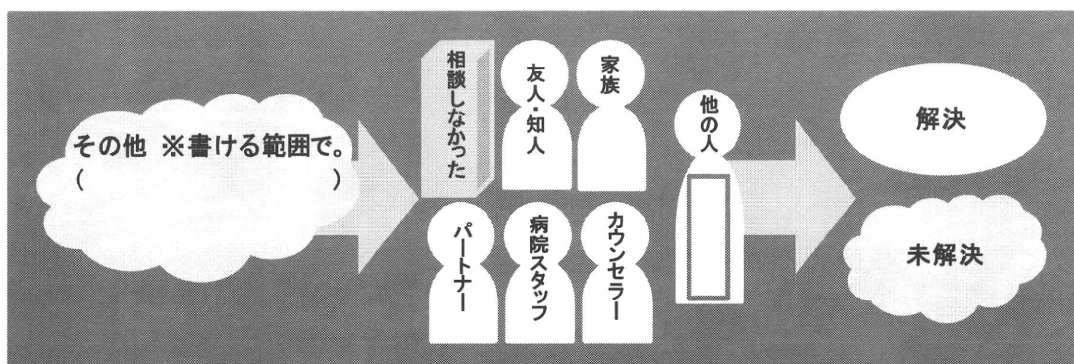
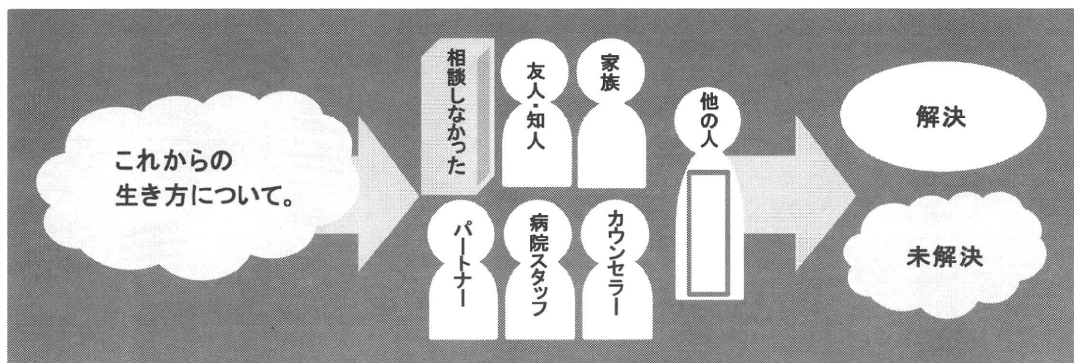
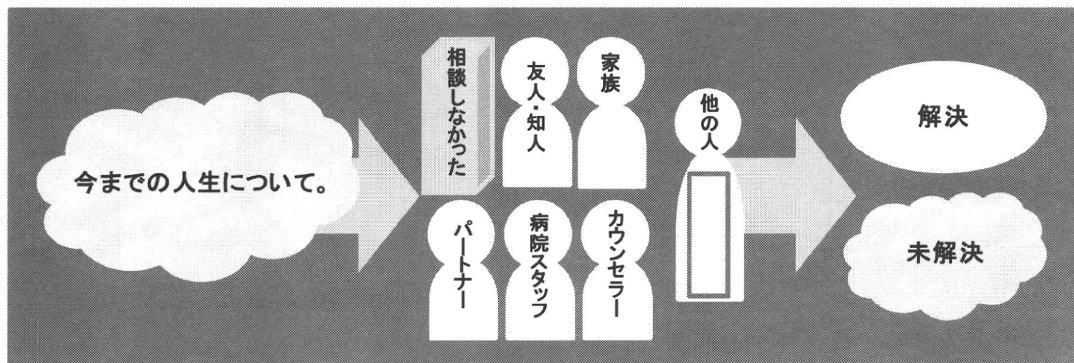
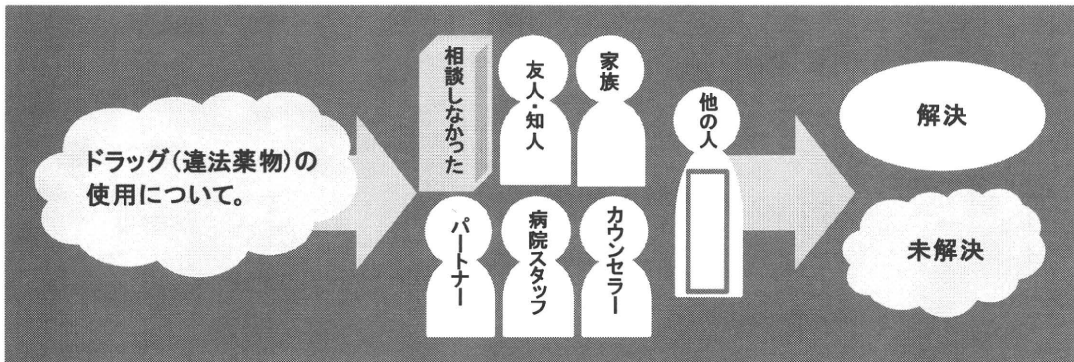
悩みは解決しましたか？



以下の悩みがありましたか？(複数回答)

相談した相手は？(複数回答)

悩みは解決しましたか？



Ⅱ 悩みがあったときの、対処に対する考え方や、その具体的方法についてお伺いします。

質問3 自分一人で解決するには、非常に困難な問題に直面した場合の『あなたの気持ちの傾向』についておたずねします。文章に対し、あなたに最もあてはまる数字に○印をつけてください。

注) ここでの「援助者」「他者」とは、「広く一般的な人たち」を指します。

		よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1	援助者は、自分の抱えている問題を真剣に考えてはくれないだろう。	5	4	3	2	1
2	援助者は、自分の抱えている問題を解決できないだろう。	5	4	3	2	1
3	援助者は、自分の抱えている問題を理解してくれないだろう。	5	4	3	2	1
4	援助者が、自分の期待通りに応えてくれるかどうか、心配になる。	5	4	3	2	1
5	他者に援助を求めると、自分が弱い人間と思われそうである。	5	4	3	2	1
6	援助者は、相談内容についての秘密を守ってくれないだろう。	5	4	3	2	1
7	他者に援助を求めると、自分が能力のない人間と思われそうである。	5	4	3	2	1
8	問題解決のために、一緒に対処してくれる人が欲しいと思う方である。	5	4	3	2	1
9	問題解決のために、他者からの適切な助言が欲しいと思う方である。	5	4	3	2	1
10	直面した困難な問題について、誰かに話を聞いてほしいと思う方である。	5	4	3	2	1
11	困難に直面するたびに、まわりの人に助けられながら、問題を解決していく方である。	5	4	3	2	1
12	他者の援助や助言は、問題解決に大いに役立つと考える方である。	5	4	3	2	1
13	必要ならば他者に援助を求める方である。	5	4	3	2	1